

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 2 区分
 【発行日】平成 18 年 11 月 16 日 (2006.11.16)

【公開番号】特開 2004-107355 (P2004-107355A)
 【公開日】平成 16 年 4 月 8 日 (2004.4.8)
 【年通号数】公開・登録公報 2004-014
 【出願番号】特願 2003-418678 (P2003-418678)
 【国際特許分類】

A 6 1 K 8/02 (2006.01)
A 6 1 K 8/06 (2006.01)
A 6 1 K 8/00 (2006.01)
A 6 1 Q 1/02 (2006.01)
A 6 1 Q 1/04 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 7/00 L
 A 6 1 K 7/00 N
 A 6 1 K 7/021
 A 6 1 K 7/025

【手続補正書】
 【提出日】平成 18 年 10 月 3 日 (2006.10.3)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】請求項 2
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【請求項 2】

(b) 成分の融点が 70 ~ 85 、(c) 成分のポリエチレンワックスの融点が 80 ~ 105 、セレシンの融点が 70 ~ 80 、(d) 成分の水酸基価が 50 ~ 185 、(e) 成分の粘度が 10 ~ 180 (mPa・s、25) である請求項 1 に記載の油性固形化粧料。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0013
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0013】

(c) 成分のセレシンは、融点が 70 ~ 80 であるものが好ましい。セレシン S P 1020 (伊那貿易商会)、セレシン B (日興リカ(株)) があげられる。

(c) 成分のポリエチレンワックスは、融点が 85 ~ 105 のものがより好ましい。ポリワックス 500 (東洋ペトロライト)、ポリワックス 655 (東洋ペトロライト)、ポリワックス 725 (東洋ペトロライト) が挙げられる。